

さあ、 みんなの力を合わせて 生きていこう!

NAU TE ROUROU,
KA ORA AI TE IWI !!



～柏ラグビースクールの子どもたちによる柏ハカ～

ハカについて

ラグビーファンならニュージーランド代表オールブラックスのハカを見たことはあると思います。2019年のW杯に向けたオールブラックスの事前キャンプが柏市で行われた時に、子どもたちによって披露されたハカがテレビのニュース番組でも取り上げられ、「柏ハカ」は全国的に知られるようになりました。

ハカとはニュージーランドの先住民であるマオリ族が、戦いの前に士気を高める時に踊るものが有名ですが歌詞や動作それぞれに意味があり、戦うためだけでなく歓迎やお別れの踊りなどもある人生の重要な場面で敬意をもって披露される神聖な伝統舞踊です。

そんなニュージーランドの伝統文化であるハカがなぜ柏のために作られたのでしょうか？

柏に贈られたオリジナルのハカ

オークランド在住でマオリ族の血を引くカール・ポキノさんが、2019年3月に日本各地を回るラグビーのコーチングのために来日。柏市を訪れた時に柏の子どもたちがニュージーランドの歴史を学び、国歌を歌ってポキノさんをおもてなししたところ、感銘を受けたポキノさんが帰国後、柏オリジナルのハカ「NAU TE ROUROU KA ORA AI TE IWI (みんなの力を合わせて生きていこう)」を作り、プレゼントしてくれたのです(なんとニュージーランド以外の国に伝承したのは初めてではないかということです)。

柏ハカの歌詞には、あけぼの山公園のチューリップや柏の大地という言葉が織り込まれており、ポキノさんが柏のことを思いながら心を込めて紡ぎだして下さったことが伝わってきます。

この柏ハカは2019年以降も柏ラグビースクールのコーチやメンバーによって、自分たちの試合時に相手チームを歓迎するためや、招待いただいたことへのお礼の気持ちを込めて披露するなど、大切に伝承してきました。

～ KASHIWA HAKA ～

みんなの力を合わせて生きていこう NAU TE ROUROU, KA ORA AI TE IWI
ナウ テロウロウ カオラアイテ イウィ

※L) はリーダーの掛け声

Nau te rourou, ka ora ai te iwi
(みんなの力を合わせて生きていこう)
ナウ テロウロウ カオラアイテ イウィ

L) Taringa whakarongo, kia rite, kia rite, kia mau!
(聞け、準備しろ、準備しろ、いくぞ！)
ターリンガ ファカロンゴ キャリテ キャリテ キャマウ!

Hi..... (了解だ)
ヒイ

L) Kia whakawhenua au i a hau
(大地と一つにならせてくれ)
キャ ファカフエヌア オウ イ ア ホウ

Hi aue Hi (声をあげる)
ヒイ オウエー ヒイ

L) Ko te Kashiwa E nganguru nei (鼓動する柏の大地よ)
コテ カシワ エナグルネイ

I au au aue ha... hi (今がその時...その瞬間だ)
イー オウ オウ オウエー ハ ヒイ

L) Ko Tiapani e nganguru nei (鼓動する日本の大地よ)
コ ティアパニ エナグルネイ

I au au aue ha... hi (今がその時...その瞬間だ)
イー オウ オウ オウエー ハ ヒイ

L) Ko Wai ra, Ko wai ra (俺たちは誰だ)
コ ワイラー コ ワイラー

Ko au te tangata o te ra... (nei) (俺たちは太陽が昇る国の人間だ)
コー オウ テタンガッタ オテラー ネイ

Ka tu te kaha i o tupuna i wehe atu. (先祖からの強みを得るんだ)
カトゥテ カ イオトゥパナ イウエヘ アツツ

Ehara taku toa i te taki tahi toa taki tini e
(俺たちの強さは一人の強さだけではなく多くの人の強さから来ているからだ)
エハラ タクト イテタキタヒ トータキティニエ

L) Ko te<掛け声>
コーテ!

Tawapou i puta mai te whero ka tu te kaha me te mana
(我々はチューリップから真っ赤に燃えるように勇気と名誉をもって立つんだ)
タワポ イプタマイ テフィーロ カトゥテカ メデマンナ

L) Naku te rourou (俺の力)
ナク テロウロウ

Nau te rourou, ka ora ai te iwi(e)
(みんなの力を合わせて生きていこう)
ナウ テロウロウ カオラアイ テ イウィエ

Hi (その瞬間だ)
ヒイ

Hi aue Hi !!



柏ラグビースクールの子どもたちの柏ハカ

当時、さまざまな場所で柏ラグビースクールの子どもたちが披露し絶賛された柏ハカですが、大きな声を出さないといけないハカは、新型コロナウイルス感染拡大の影響でしばらく全体で揃っての練習ができず、個人的な練習しかできませんでした。2022年4月、久しぶりにスタジアムの大勢の前で、しかも NEC グリーンロケッツ東葛の試合前に柏ハカを披露することになりました。今回はその練習の様子をお伝えします!

柏ラグビースクールには幼稚園児から中学生まで、現在約200名以上のメンバーが在席しています。この時は高学年の練習におじゃましました。

今日はすごく暑い!



▲久しぶりの集合練習とあって最初は声も少し控え目



▲もっと声を出さないと魂が入らないよ、というアドバイスでもう一度挑戦!



▲「自分で声が出ていると思った人～」今は良かったよね! コーチからも○をもらって練習終了

INTERVIEW

ハカリーダーの6年生3人とコーチの高田さんにインタビュー!

●「2019年の時からハカをやっていますが、好きなハカを久し振りにできて嬉しいです。前より声を出すのが恥ずかしくなくなりました。教えてくれたことを恥じないように全力で頑張ります!」
(しげたけいいちろうくん)

●「僕も2019年の時もやっていたので、好きなハカができて嬉しいです。今日もそうでしたが、回を増すごとに声を出せるようになってきています。24日はテレビにも映ると聞いたので、恥ずかしくないように頑張ります!」
(やまべゆうきくん)

●「ラグビーをはじめたきっかけはW杯で日本が活躍したため、僕も活躍してみたいと思ったから。最初はルールも難しいし思ったよりも楽しくないなと思ったけど、今は楽しいです。ハカは2019年の時もあまりみてなかったのですが、やってみて、ハカってなんだろう?というところからだんだんわかってきて、歌詞の意味が解るようになって、意識を入れてできるようになりました」
(ささきけんとかん)

●「ハカはニュージーランドで大切にされてきた文化ですから、誰でも勝手にできるものではありません。ですので、この柏ハカはかなり特別なことだと思います。ですが、きちんと教わった人がさらに人に伝えることで、広く伝承していくことはできます。柏ハカも柏市の学校の先生や市の職員の方へのレクチャーも行い、市内の学校の運動会や行事で披露されました。今回は久し振りにハカをやることになり、まずはコーチ陣からちゃんとレッスンをして、子どもたちの指導ができる体制を整えてきました」
(コーチの高田さん)

2019年経験者も久しぶり、また今回初めて披露するメンバーも多数います。それから、実はハカには女性のための振り付けもあるということで、8名の女子メンバーがその踊りを披露しますので、そこも注目して見てくださいね。

これからも柏の誇りとして、また、ニュージーランドと柏市の親善の象徴として受け継がれていって欲しいですね。